



シスコ以外の SIP 電話機の設定

Cisco CallManager Release 5.0 は、Cisco SIP IP Phone、および RFC3261 に準拠しているサードパーティ製 SIP 電話機をサポートしています。この付録では、Cisco CallManager Administration を使用して、サードパーティ製 SIP 電話機を設定する方法について説明します。

この付録は、次の項で構成されています。

- [SIP 電話機設定の相違点 \(P.C-2\)](#)
- [サードパーティ製 SIP 電話機の設定チェックリスト \(P.C-4\)](#)
- [参考情報 \(P.C-5\)](#)

SIP 電話機設定の相違点

表 C-1 では、Cisco SIP IP Phone とサードパーティ製 SIP 電話機の設定を比較してその相違点の概要を示します。

表 C-1 SIP 電話機モデルの設定比較

SIP 電話機	中央集中型 TFTP との統合	MAC アドレスの送信	ソフトキーファイルのダウンロード	ダイヤルプランファイルのダウンロード	Cisco CallManager のフェールオーバーとフェールバックのサポート	リセットと再起動のサポート
Cisco SIP IP Phone モデル 7911、7941、7961、7970、7971	はい	はい	はい	はい	はい	はい
Cisco SIP IP Phone モデル 7940、7960	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
Cisco SIP IP Phone モデル 7905、7912	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい
サードパーティ製 SIP 電話機	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

管理者が Cisco CallManager Administration を使用してサードパーティ製 SIP 電話機を設定するときに、Cisco CallManager データベースが更新されます。また、管理者はサードパーティ製 SIP 電話機上で設定手順を実行する必要もあります。次の例を参照してください。

- 電話機のプロキシアドレスを Cisco CallManager の IP アドレスまたは Fully Qualified Domain Name (FQDN; 完全修飾ドメイン名) にする必要があります。
- 電話機の電話番号を、Cisco CallManager Administration でデバイスに設定した電話番号と一致させる必要があります。
- 電話機のダイジェストユーザ ID (認可 ID とも呼ばれる) を、Cisco CallManager Administration で設定したダイジェストユーザ ID と一致させる必要があります。

詳細については、サードパーティ製 SIP 電話機に付属のマニュアルを参照してください。Cisco CallManager Administration での設定手順については、P.C-4 の「サードパーティ製 SIP 電話機の設定チェックリスト」を参照してください。

Cisco CallManager がサードパーティ製電話機を識別する方法

サードパーティ製 SIP 電話機は MAC アドレスを送信しないため、ダイジェスト認証を使用して自分自身の身元を証明する必要があります。

REGISTER メッセージには次のヘッダーが含まれています。

```
Authorization: Digest
username="swhite",realm="ccmsipline",nonce="GBauADss2qoWr6k9y3hGGVDAqnLfoLk5",uri="sip:172.18.197.224",algorithm=MD5,response="126c0643a4923359ab59d4f53494552e"
```

ユーザ名 swhite は、Cisco CallManager Administration の End User Configuration ウィンドウに設定されているエンドユーザと一致する必要があります (P.87-3 の「エンドユーザの追加」を参照)。管理者は、Phone Configuration ウィンドウの Digest User フィールドで、サードパーティ製 SIP 電話機にユーザ (たとえば swhite) を設定します (P.70-3 の「Cisco IP Phone の設定」を参照)。



(注)

各エンドユーザ ID は、(Phone Configuration ウィンドウの Digest User フィールドで) 1 つのサードパーティ製電話機だけに割り当てることができます。同じエンドユーザ ID がダイジェストユーザとして複数の電話機に割り当てられている場合、そのエンドユーザ ID が割り当てられているサードパーティ製電話機は正しく登録されません。

サードパーティ製 SIP 電話機と TFTP

サードパーティ製 SIP 電話機は、Cisco CallManager TFTP サーバを使用して設定されません。お客様が、ネイティブ電話機設定メカニズム（通常は、Web ページまたは tftp ファイル）を使用して、電話機を設定します。お客様は、Cisco CallManager データベース内のデバイスおよび回線の設定と、ネイティブ電話機設定の同期を保つ必要があります（たとえば、電話機の内線番号 1002、Cisco CallManager で 1002）。さらに、回線の電話番号が変更された場合、Cisco CallManager Administration とネイティブ電話機設定メカニズムの両方でその電話番号が変更されていることを確認してください。

サードパーティ製 SIP 電話機のダイジェスト認証の使用可能化

サードパーティ製 SIP 電話機のダイジェスト認証を使用可能にするには、管理者が SIP 電話機のセキュリティプロファイルを作成する必要があります（第 20 章「SIP 電話機のセキュリティプロファイルの設定」を参照）。SIP Phone Security Profile Configuration ウィンドウで、Enable Digest Authentication チェックボックスをオンにします。セキュリティプロファイルの設定後、管理者は、Phone Configuration ウィンドウを使用して、そのセキュリティプロファイルを SIP 電話機に割り当てる必要があります。このチェックボックスがオフである場合、Cisco CallManager は、エンドユーザ ID によって電話機を識別するためにダイジェスト認証を使用し、ダイジェストパスワードを確認しません。このチェックボックスがオンである場合、Cisco CallManager はパスワードを確認します。



(注)

Cisco CallManager は、サードパーティ製 SIP 電話機からの Transport Layer Security (TLS) をサポートしません。

サードパーティ製 SIP 電話機の設定チェックリスト

表 C-2 では、Cisco CallManager Administration を使用してサードパーティ製 SIP 電話機を手動で設定する手順を示します。

表 C-2 サードパーティ製 SIP 電話機の設定チェックリスト




設定手順	手順および関連項目
ステップ 1 電話機に関する次の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none"> • MAC アドレス • 電話機の物理的なロケーション • 電話機に関連付ける Cisco CallManager ユーザ • パーティション、コーリングサーチスペース、およびロケーションの情報（使用する場合） • 電話機に割り当てる回線および関連 DN の数 	
ステップ 2 ダイジェスト ユーザにするエンドユーザを設定します。  (注) サードパーティ製 SIP 電話機が認可 ID (ダイジェストユーザ) をサポートしない場合は、サードパーティ製電話機の DN と一致するユーザ ID を持つユーザを作成してください。たとえば、1000 という名前のエンドユーザを作成し、電話機に 1000 という DN を作成します。このユーザを電話機に割り当てます (ステップ 8 を参照)。	エンドユーザの追加 (P.87-3)
ステップ 3 SIP プロファイルを設定します。または、デフォルトプロファイルを使用します。SIP プロファイルは、Phone Configuration ウィンドウを使用して SIP 電話機に追加されます。  (注) サードパーティ製 SIP 電話機は、SIP Profile Configuration ウィンドウの SIP Profile Information セクションだけを使用します。	SIP プロファイルの設定 (P.79-3) Cisco IP Phone の設定 (P.70-3)
ステップ 4 定義済みのノンセキュア SIP プロファイルの 1 つ、または自動登録用の標準 SIP プロファイルを使用します。あるいは、SIP 電話機のセキュリティプロファイルを設定します。必要に応じて、ダイジェスト認証を使用可能にします。	サードパーティ製 SIP 電話機のダイジェスト認証の使用可能化 (P.C-3) SIP 電話機のセキュリティプロファイルの設定 (P.20-1) Cisco CallManager セキュリティ ガイド
ステップ 5 Add a New Phone Configuration ウィンドウから Third-party SIP Device (Advanced) または Third-party SIP Device (Basic) を選択して、サードパーティ製 SIP 電話機を追加し、設定します。  (注) Third-party SIP Device (Basic) は 1 つの回線をサポートし、3 つのライセンスユニットを消費します。Third-party SIP Device (Advanced) は、8 つの回線とビデオをサポートし、6 つのライセンスユニットを消費します。	Cisco IP Phone の設定 (P.70-3)
ステップ 6 電話機に対して回線 (DN) を追加し、設定します。	電話番号の設定 (P.49-1)

表 C-2 サードパーティ製 SIP 電話機の設定チェックリスト (続き)

設定手順	手順および関連項目
ステップ 7 End User Configuration ウィンドウで、Device Association を使用して SIP 電話機を選択し、サードパーティ製 SIP 電話機をユーザに関連付けます。	エンドユーザとデバイスとの関連付け (P.87-12)
ステップ 8 Phone Configuration ウィンドウの Digest User フィールドで、ステップ 2 で作成したエンドユーザを選択します。	電話機の設定値 (P.70-7)
ステップ 9 サードパーティ製 SIP 電話機に対して、電源を供給し、ネットワーク接続を装備して確認し、ネットワーク設定値を設定します。	SIP 電話機に付属のアドミニストレーションガイドを参照してください。
ステップ 10 サードパーティ製 SIP 電話機でコールを発信します。	サードパーティ製 SIP 電話機に付属のユーザガイドを参照してください。

参考情報

- 電話番号の設定 (P.49-1)
- Cisco IP Phone の設定 (P.70-1)
- SIP プロファイルの設定 (P.79-1)
- エンドユーザの設定 (P.87-1)
- 『Cisco CallManager システムガイド』の「Cisco IP Phone」

